

平成28年1月期 決算説明会

株式会社ACCESS

平成28年3月15日

ACCESS™

ACCESS CO., LTD.

© 2016 ACCESS CO., LTD. All rights reserved. | Confidential

本資料の注意点

- 本資料に含まれる業績目標等の将来数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき弊社グループで判断したものです
- 将来数値には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来数値と異なる場合がありますので、この将来数値に全面的に依拠して、投資等の判断を行なうことは差し控えてください

●ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。●IP Infusion、IP Infusionロゴ、ZebOSは、IP Infusion Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。●その他、文中に記載されている商標、会社名およびロゴマークは、それぞれ所有する会社に帰属します。

目次

- I. 平成28年1月期 決算概況
- II. 平成28年1月期 セグメント別事業状況
- III. 次期の方針

Appendix

I. 平成28年1月期 決算概況

決算ハイライト

(平成28年1月期 / 前期比・修正予算比)

(単位：百万円)

	前期実績	当期実績	前期比	修正予算 (平成27年10月15日発表)	修正予算比
売上高	7,520	6,837	▲683	7,700	▲862
営業損益	▲1,071	▲114	+956	▲480	+365
経常損益	▲885	27	+913	▲480	+507
当期純損益	▲2,518	▲1,318	+1,200	▲2,077	+758

※当連結会計年度より、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」を適用したことに伴い、前期実績を遡及して修正

○ 通期業績について

- 売上高 **予算未達** : 新規事業分野での売上獲得の遅れ
- 営業損益 **赤字縮小** : 販売費及び一般管理費の削減効果による赤字幅縮小
- 当期純損益 **特損発生** : 本社オフィス統合に伴う特別損失の発生

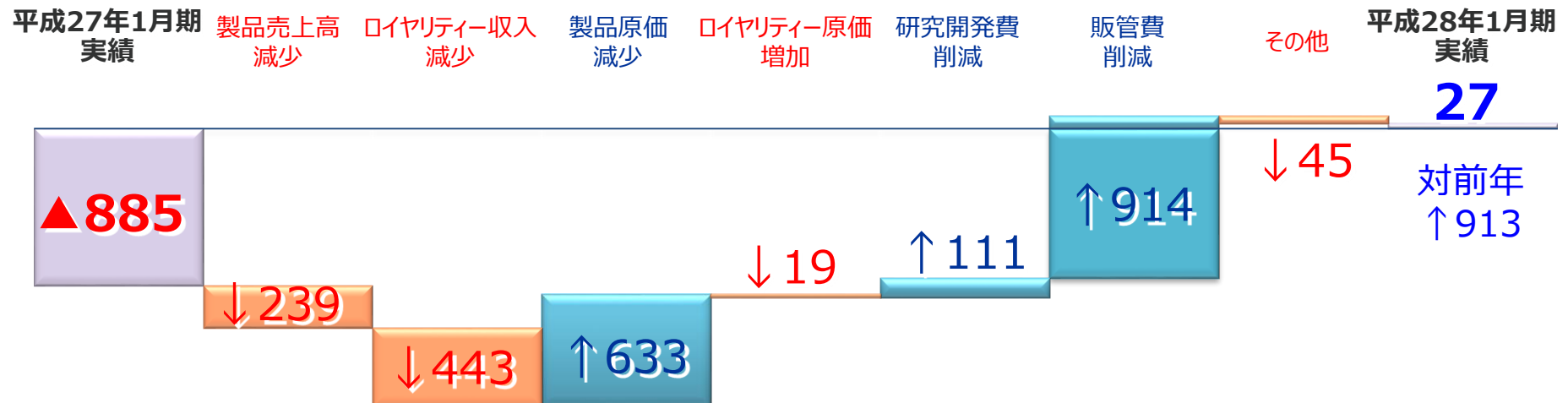
経常損益比較

修正予算比較

(単位：百万円)



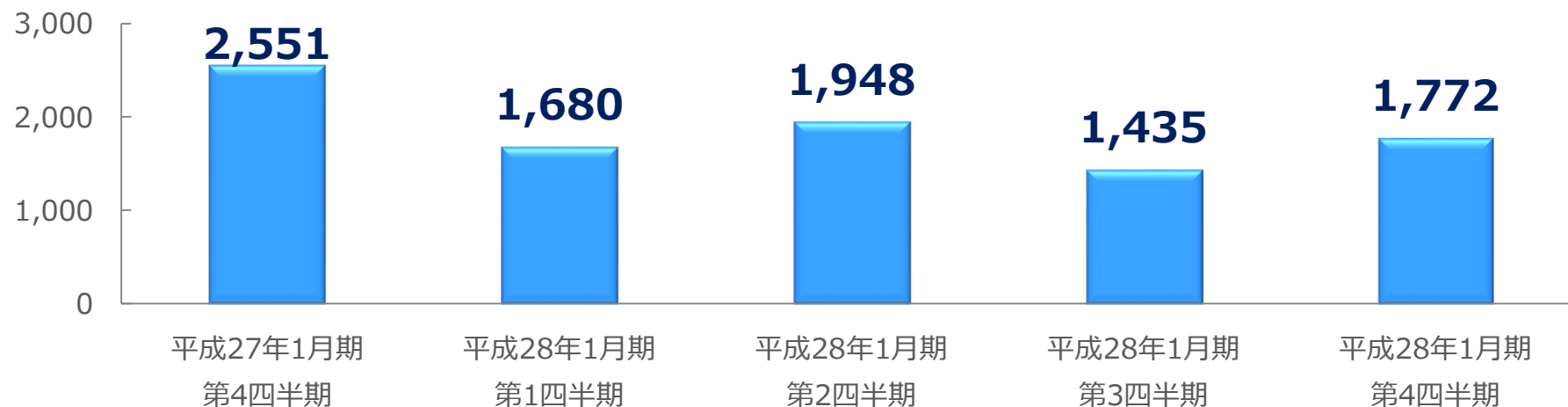
前年比較



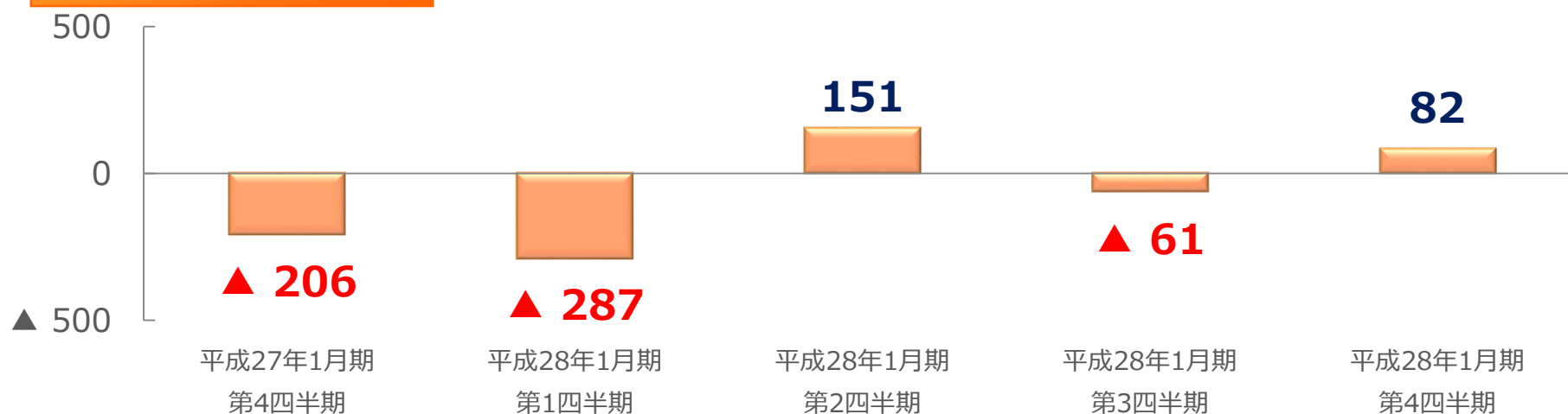
売上高・営業損益推移

売上高推移

(単位：百万円)



営業損益推移

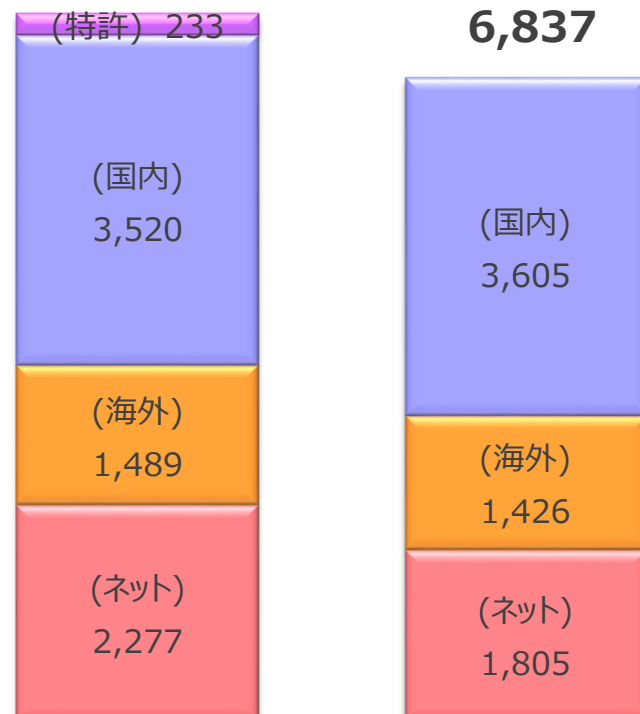


セグメント別業績推移

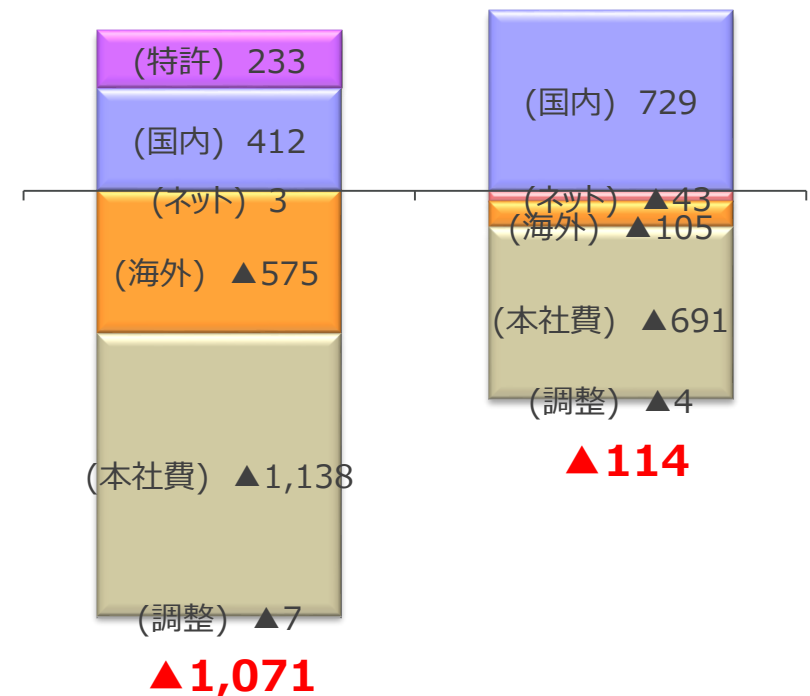
(単位：百万円)

売上高

7,520

平成27年1月期
実績平成28年1月期
実績

本社費配賦前営業利益

平成27年1月期
実績平成28年1月期
実績

■ 特許
 ■ ソフトウェア事業 (国内)
 ■ ソフトウェア事業 (海外)
 ■ ネットワークソフトウェア事業
 ■ 本社費

※当連結会計年度より報告セグメントを変更したため、平成27年1月期の業績を変更後のセグメント区分に従って表示

本社移転及び固定資産の譲渡について

○ 幕張オフィス処分の経緯

- 営業活動の促進、経営効率の更なる改善等を図るため、本社を移転し、移転に伴い遊休資産となる幕張オフィスを処分することを決定（平成27年10月15日取締役会）
⇒ **1,509百万円**の減損損失を事業構造改善費用として計上

○ オフィス統合の効果

（経営効率の改善）

- 開発 / 営業 / 管理の各部門が同じオフィスに集約されることによるコミュニケーションの改善
- 開発拠点が都心部に移動し、顧客との距離が近づくことによる営業活動の円滑化
- 利便性の高い立地による人材採用面での優位性獲得

（損益への影響）

- 今後、新たにオフィス賃料等の費用が発生する一方、これまでの自社オフィスの維持費用・減価償却費が消滅するため結果的に年間**1億円前後のコスト削減**効果を見込む



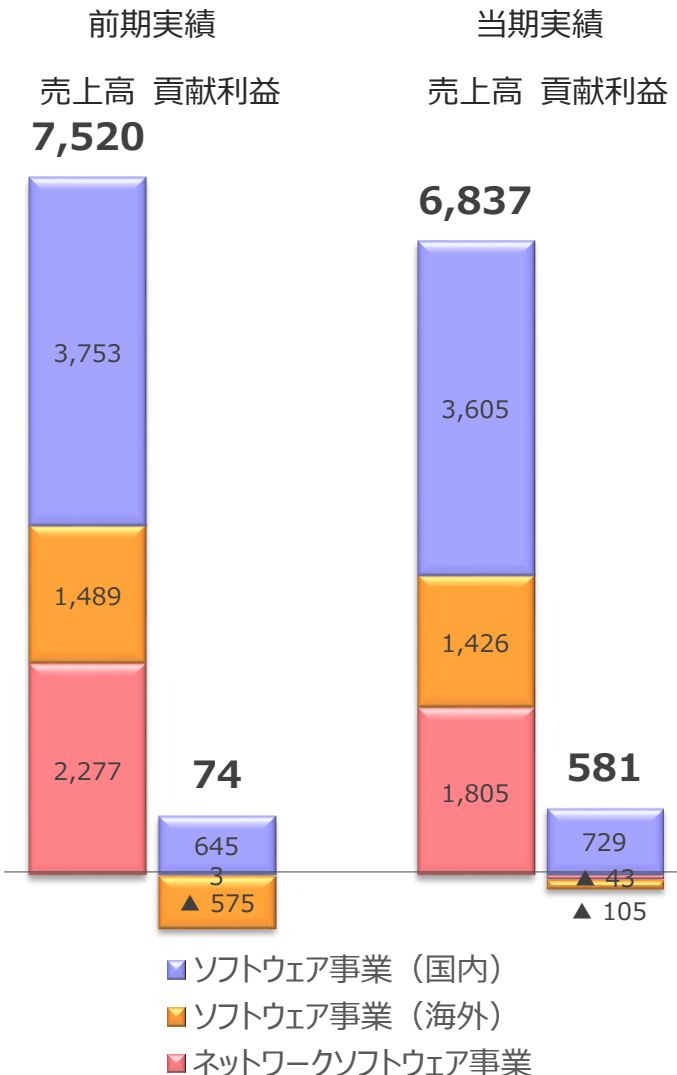
II. 平成28年1月期 セグメント別事業状況

セグメント別事業状況

－ 全体の概況 －

(単位：百万円)

	前期実績	当期実績	前期比
ソフトウェア事業 (国内)	売上高 ^{※1}	3,753	▲148
	貢献利益 ^{※2}	645	+83
	社員数	156	+21
ソフトウェア事業 (海外)	売上高 ^{※1}	1,489	▲62
	貢献利益 ^{※2}	▲575	+470
	社員数	150	▲42
ネットワークソフトウェア事業	売上高 ^{※1}	2,277	▲472
	貢献利益 ^{※2}	3	▲47
	社員数	236	+14



※1 外部顧客への売上高 ※2 本社費配賦前営業利益

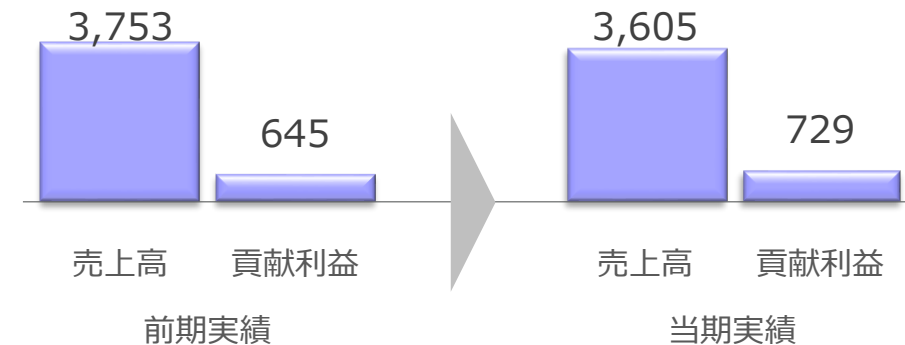
※当連結会計年度より報告セグメントを変更したため、前期実績を変更後のセグメント区分に従って表示

セグメント別事業状況

－ ソフトウェア事業（国内） －

(単位：百万円)

	前期実績	当期実績	前期比
売上高 ^{※1}	3,753	3,605	▲148
貢献利益 ^{※2}	645	729	+83
社員数	156	177	+21



※1 外部顧客への売上高 ※2 本社費配賦前営業利益

※当連結会計年度より報告セグメントを変更したため、前期実績を変更後のセグメント区分に従って表示

IoT・組み込み分野 …既存事業の効率化と新規事業の育成

- 既存の組み込み製品からのロイヤリティ収入は概ね想定通りに減少
- Beacon等の新規分野は受託開発案件を中心に売上が伸張
- 法人向けクラウドサービス分野は、NTTドコモ（ビジネスプラス）やオービックビジネスコンサルタント（奉行シリーズ）と連携し、今後の拡販を図る



電子出版分野 …順調な事業成長

- 売上・利益ともに順調に増加
- システム利用料やレベニューシェア等、安定収益の割合が全売上の50%を突破

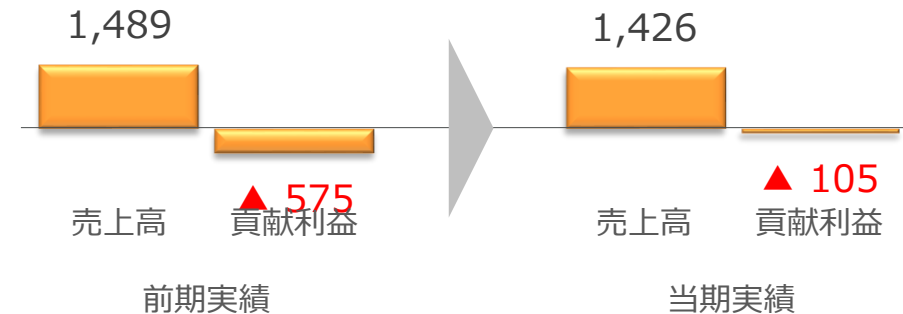


セグメント別事業状況

－ ソフトウェア事業（海外） －

(単位：百万円)

	前期実績	当期実績	前期比
売上高 ^{※1}	1,489	1,426	▲62
貢献利益 ^{※2}	▲575	▲105	+470
社員数	150	108	▲42



※1 外部顧客への売上高 ※2 本社費配賦前営業利益

※当連結会計年度より報告セグメントを変更したため、前期実績を変更後のセグメント区分に従って表示

欧州拠点 …増収+黒字化



- 車載+デジタルTVの既存事業に加え、有料テレビ事業者向けマルチスクリーンソリューション「ACCESS Twine™」を拡販

ACCESS Europe
(Oberhausen)

ACCESS China
(Beijing)

ACCESS Seoul

韓国拠点 …業績悪化

- 既存事業・顧客向け売上高が落ち込み、業績が悪化
- Disney Koreaからライセンスを取得し、エデュテインメント (education + entertainment) 向けの事業を開始

中国拠点 …損益均衡

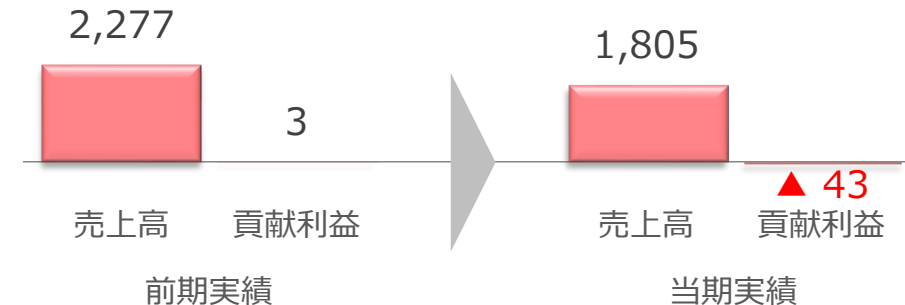
- 前期末～当期にかけて組織再編を実施
- 売上高の減少を上回るコスト削減により、収支は改善

セグメント別事業状況

－ ネットワークソフトウェア事業 －

(単位：百万円)

	前期実績	当期実績	前期比
売上高 ^{※1}	2,277	1,805	▲472
貢献利益 ^{※2}	3	▲43	▲47
社員数	236	250	+14



※1 外部顧客への売上高 ※2 本社費配賦前営業利益

※当連結会計年度より報告セグメントを変更したため、前期実績を変更後のセグメント区分に従って表示

既存分野

ネットワーク機器向けソフトウェア

ZebOS®

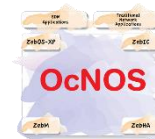
- 一部の大型案件の影響により売上高減少
- 上記影響を除くと事業基盤は安定化

新規分野

ネットワーク仮想化ソリューション

VirNOS

NECのクラウド基盤サービス向けに
ライセンス供与



OcNOS

Dellの販売網を經由して
グローバルに提供開始

- 製品開発と拡販体制の構築に注力
- 収益貢献は来期以降を見込む

III. 次期の方針

業績計画

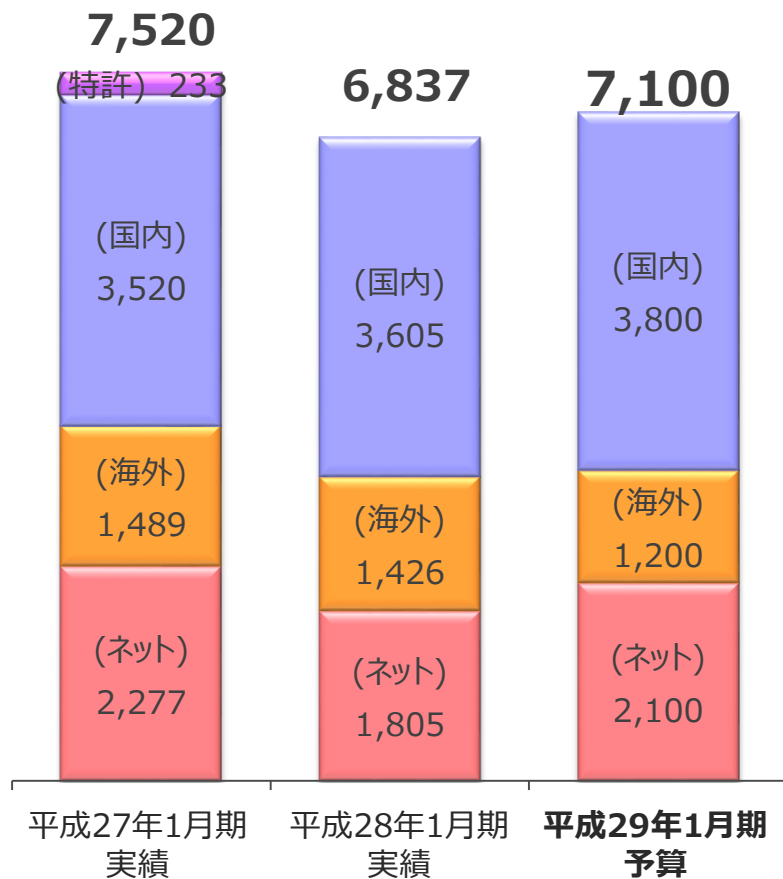
(単位：百万円)

	平成28年1月期 実績	平成29年1月期 予算	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	6,837	7,100	+262	+3.8%
営業損益	▲114	150	+264	—
経常損益	27	150	+122	+449.4%
当期純損益	▲1,318	80	+1,398	—
一株当たり 当期純損益(円)	▲34.19	2.07	+36.26	—

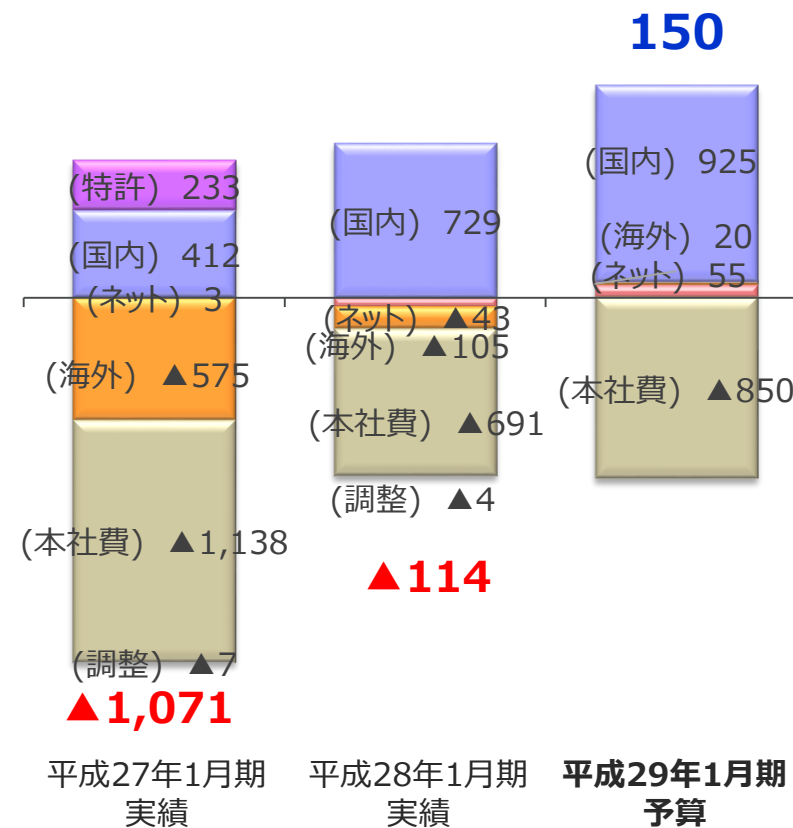
セグメント別業績計画

(単位：百万円)

売上高



本社費配賦前営業利益



■ 特許
 ■ ソフトウェア事業 (国内)
 ■ ソフトウェア事業 (海外)
 ■ ネットワークソフトウェア事業
 ■ 本社費

※当連結会計年度より報告セグメントを変更したため、平成27年1月期の業績を変更後のセグメント区分に従って表示

セグメント別事業方針

(単位：百万円)

ソフトウェア事業 (国内)		平成28年1月期 実績	平成29年1月期 予算	前期比増減額
	売上高 ^{※1}	3,605	3,800	+194
貢献利益 ^{※2}	729	925	+195	

ソフトウェア事業 (海外)		平成28年1月期 実績	平成29年1月期 予算	前期比増減額
	売上高 ^{※1}	1,426	1,200	▲226
貢献利益 ^{※2}	▲105	20	+125	

ネットワークソフトウェア事業		平成28年1月期 実績	平成29年1月期 予算	前期比増減額
	売上高 ^{※1}	1,805	2,100	+294
貢献利益 ^{※2}	▲43	55	+98	

※1 外部顧客への売上高 ※2 本社費配賦前営業利益

- 「IoT」：ブラウザ事業の再成長とBeacon事業の基盤確立
- 「電子出版」：既存市場の深耕と教育分野への進出

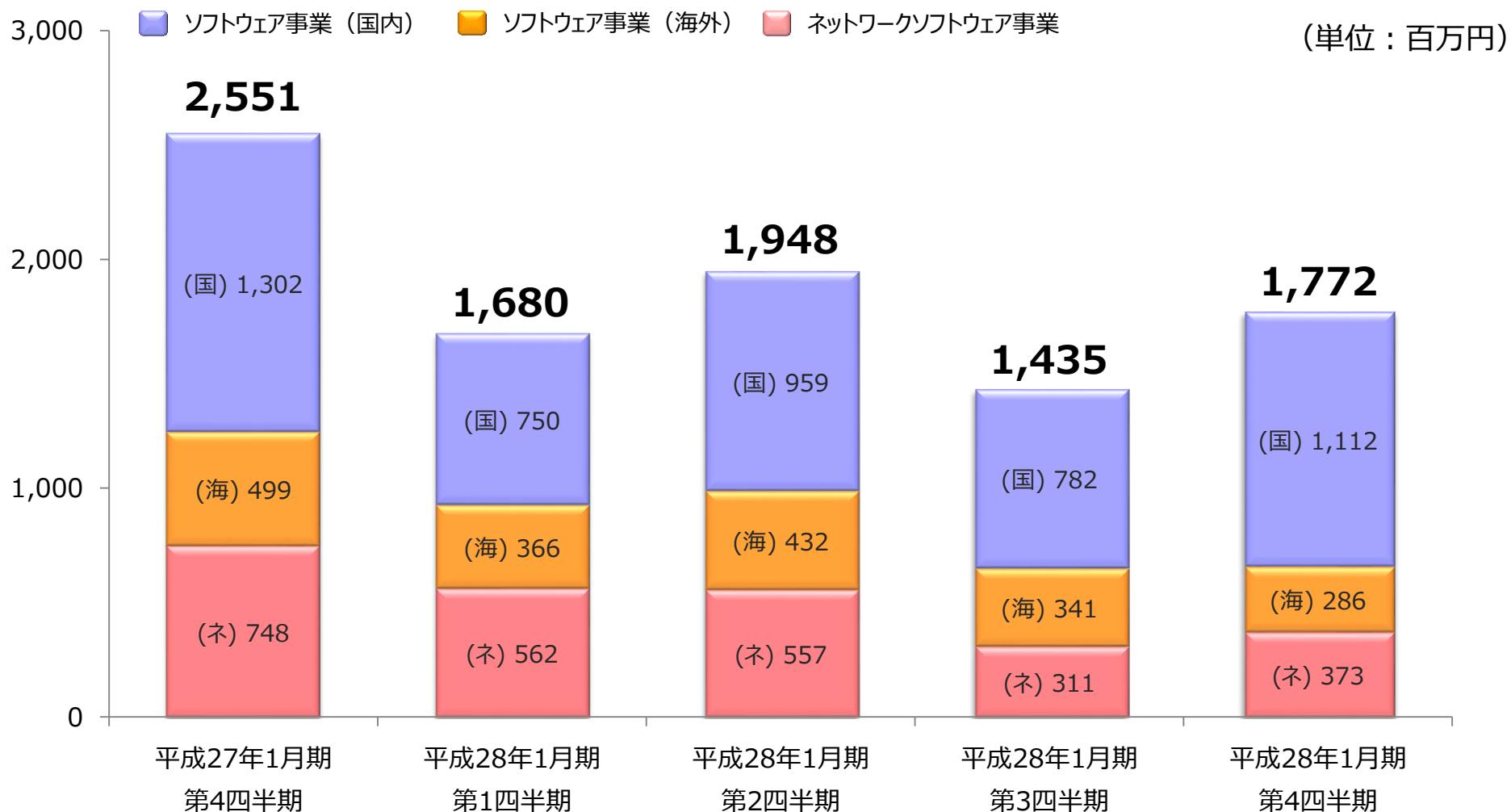
- 中国・韓国で実施した人員規模の適正化により売上高は減少するが、事業コストが適正化され黒字化を見込む

- 前期に引き続き、ZebOSの事業基盤の上にネットワーク仮想化分野での事業構築を図る

Appendix

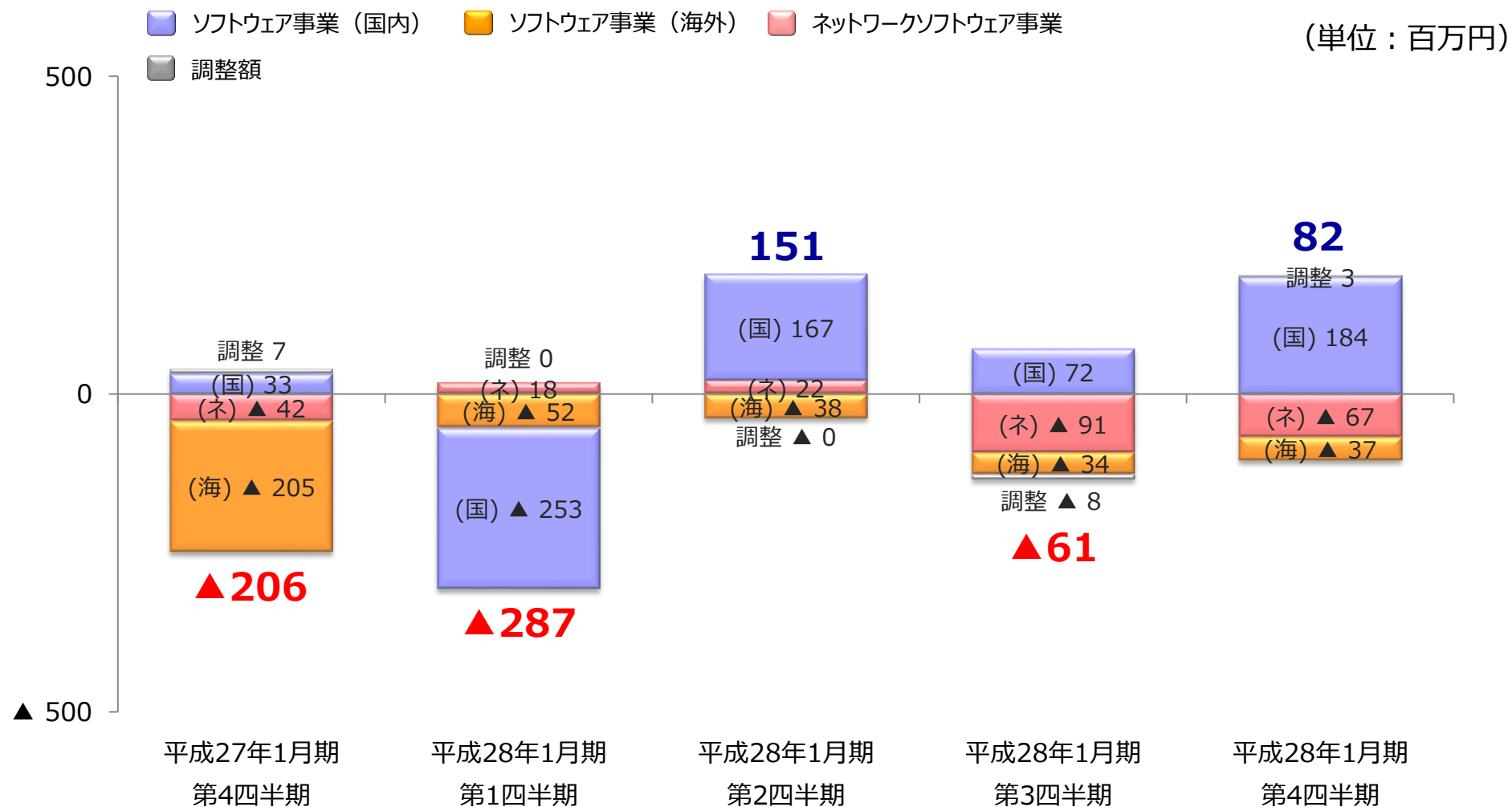
1. セグメント別売上高の推移
2. セグメント別営業損益の推移
3. 特別利益・特別損失の明細
4. 受託開発（製品）の受注状況
5. 連結貸借対照表（要約）
6. 連結キャッシュ・フローの状況（要約）
7. 人員の推移
8. 平成28年1月期 下期 開示一覧

セグメント別売上高の推移



※当連結会計年度より報告セグメントを変更したため、平成27年1月期の業績を変更後のセグメント区分に従って表示

セグメント別営業損益の推移



※当連結会計年度より報告セグメントを変更したため、平成27年1月期の業績を変更後のセグメント区分に従って表示

特別利益・特別損失の明細

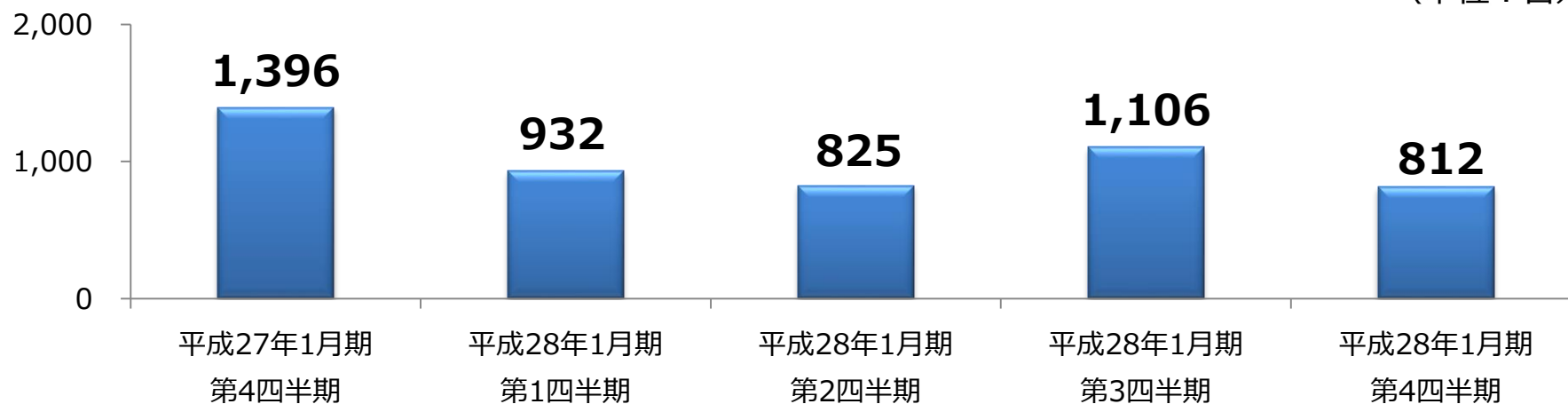
(単位：百万円)

	科目名	ACCESS (本社)	子会社	修正	連結合計
特別利益	新株予約権戻入益	-	435	-	435
	未払費用戻入益	-	148	-	148
	関係会社清算益	278	-	▲ 278	-
	為替換算調整勘定取崩益	-	-	74	74
	その他	17	▲ 129	131	18
	合計		295	454	▲ 72
特別損失	事業構造改善費用	1,656	-	-	1,656
	(内訳)				
	減損損失	1,509	-	-	1,509
	その他	147	-	-	147
	特別退職金	-	184	-	184
	関係会社株式評価損 / 投資有価証券評価損	456	-	▲ 440	15
	その他	86	18	▲ 36	67
	合計		2,199	202	▲ 476

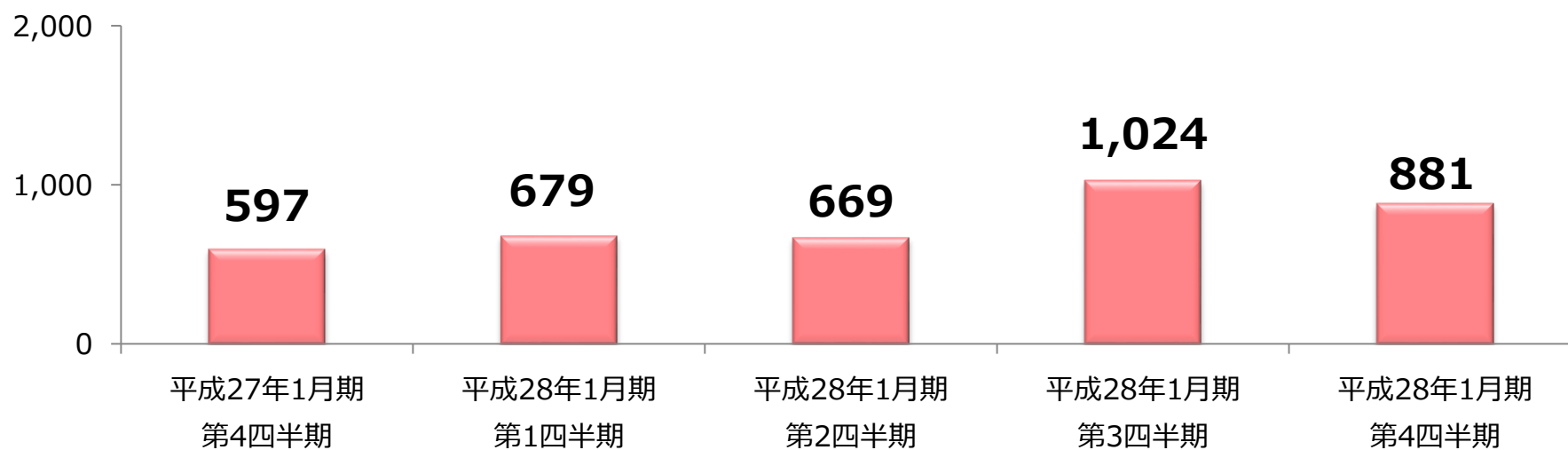
受託開発（製品）の受注状況

受注高

(単位：百万円)

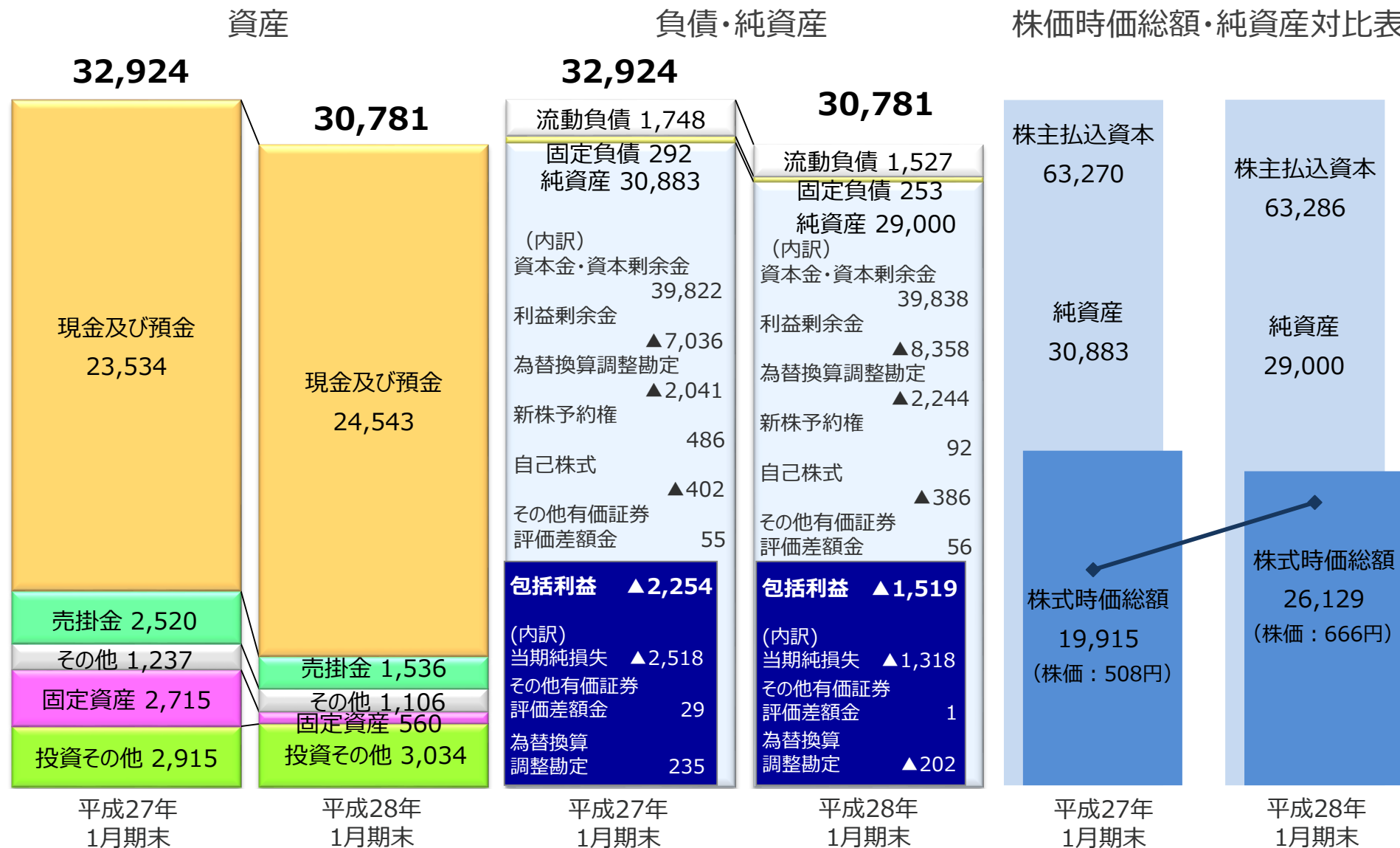


受注残高



連結貸借対照表（要約）

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フローの状況（要約）

（単位：百万円）

	平成27年1月期 通期	平成28年1月期 通期
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	207	560
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	127	819
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲0	3
IV. 現金及び現金同等物に係わる為替換算差額	214	▲58
V. 現金及び現金同等物の増加額	549	1,325
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	23,306	23,855
VII. 連結除外に伴う現金同等物の減少額	-	▲17
VIII. 現金及び現金同等物の期末残高	23,855	25,163

税金等調整前当期純損失	: ▲2,423 百万円	税金等調整前当期純損失	: ▲1,220 百万円
減価償却費	: 360 百万円	新株予約権戻入額	: ▲435 百万円
減損損失	: 1,479 百万円	事業構造改善費用	: 1,656 百万円
売上債権の減少	: 1,483 百万円	売上債権の減少	: 973 百万円

定期預金の預入による支出	: ▲506 百万円	定期預金の預入による支出	: ▲433 百万円
定期預金の払戻による収入	: 962 百万円	定期預金の払戻による収入	: 660 百万円
無形固定資産の取得による支出	: ▲239 百万円	有形固定資産の売却による収入	: 1,087 百万円
		無形固定資産の取得による支出	: ▲237 百万円

人員の推移

(単位：人)		平成27年1月期		平成28年1月期			
		第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	日本	155	156	179	180	177	177
ソフトウェア事業（国内）		155	156	179	180	177	177
	アジア（日本以外）	115	106	81	75	67	62
	北米	3	2	1	1	1	1
	ヨーロッパ	41	42	41	41	46	45
ソフトウェア事業（海外）		159	150	123	117	114	108
	日本	10	11	3	3	3	3
	アジア（日本以外）	201	200	196	196	217	221
	北米	25	25	24	24	26	26
ネットワークソフトウェア事業		236	236	223	223	246	250
	日本	33	33	25	30	20	19
研究開発・マーケティング等		33	33	25	30	20	19
	日本	31	32	38	26	19	19
本社管理部門		31	32	38	26	19	19
合計		614	607	588	576	576	573

※当連結会計年度より報告セグメントを変更したため、過年度分の人員を変更後のセグメント区分に従って表示
 ※全て各四半期末時点における人員数

平成28年1月期 下期 開示一覧 ①

		適時開示	報道発表
第3四半期	8月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成28年1月期 第2四半期（累計）連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ（8月31日付） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総合エンターテインメントサイト「DMM.com」の公式ビューアプリ「DMMボックス」にEPUB3準拠ビューア「PUBLUS® Reader」のエンジンが採用 ■ ACCESS、EPUB3準拠のブラウザ版ビューア「PUBLUS® Reader for Browser v2」のベータ版を開発、JEPA主催セミナーにて初披露 ■ ANAのサービス「ANA」に、IoTクラウド統合ソリューション「ACCESS Connect™ Location Profile」が採用
	9月		<ul style="list-style-type: none"> ■ 大手通信事業者ポルトガルテレコムグループがIP Infusionの「ZebOS®-XP」と「ZebIC」を採用 ■ ACCESS、教育事業製品向けブランド「Lentrance」を発表 ■ 共同印刷グループの漢検公式アプリ「漢検ラーニング」に、ACCESSのEPUB3対応電子出版ソリューション「PUBLUS®」が採用
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本社移転、固定資産の譲渡、特別損失計上及び平成28年1月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ（10月15日付） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ACCESS、IoTサービスへのアクセスを簡素化する、画期的な「ボタンビーコン™」を開発、提供開始 ■ スクウェア・エニックスのWEBコミック誌「ガンガンONLINE」に、ACCESSのブラウザ版EPUB3対応電子書籍ビューア「PUBLUS® Reader for Browser」が採用 ■ 図書印刷に、デジタル版教科書・教材用コンテンツ制作ソリューション「Lentrance Creator™」が採用 ■ 電算システムに、デジタル版教科書・教材用コンテンツ制作ソリューション「Lentrance Creator™」が採用 ■ OBCの最新版「奉行10」の基本サービスにACCESSのクラウド型ビジネスチャット「Linkit®」が採用

平成28年1月期 下期 開示一覧 ②

		適時開示	報道発表
第4四半期	11月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 主要株主の異動に関するお知らせ (11月5日付) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ IP Infusion、新世代ネットワークプラットフォームの最新版「ZebOS®-XP Release 1.3」を提供開始 ■ 東京書籍、指導者用・学習者用双方のデジタル教科書プラットフォームに「Lentrance™」を採用 ■ IP Infusion、NFVベースの仮想SDNコントローラオプション「VirNOS™-C」を開発、提供開始 ■ NTTドコモ等のデバイス連携プラットフォーム「Linking」にIoTクラウド統合ソリューション「ACCESS Connect®」を順次対応
	12月		<ul style="list-style-type: none"> ■ IP Infusion、MPLS対応の統合ネットワークオペレーティングシステム「OcNOS®」を提供開始 ■ アルクの『ENGLISH JOURNAL』アプリにEPUB対応電子書籍アプリ開発キット「PUBLUS® SDK for Newsstand」が採用 ■ ソフトバンクのIoT体験スペース「TECH CAFE」に技術協力 ■ ACCESS、台湾向けレポート通販業務支援クラウドサービス「CROS™」を、他アジア市場へ拡大、提供開始
	1月		<ul style="list-style-type: none"> ■ メガネスーパーのメガネ型ウェアラブル端末とACCESSのBeaconソリューションを連携 ■ Aジャガー・ランドローバーの次世代車載システムのブラウザに「NetFront® Browser NX Automotive Profile」が採用 ■ オフィス統合及び本社移転のお知らせ ■ IP Infusion、「VirNOS™」をNECにライセンス供与